



新井 悠介 さん
日本大学
文理学部 (在学中合格)

自分の夢を叶えるための 2 年間

最終合格先 警視庁警察官 I 類・千葉県警察官 A

受講コース	メディア	校舎
警察官・消防官 2 年総合本科生	教室講座	池袋校

▶ 警察官を目指した理由・きっかけ

私は中学の時から人のために働ける仕事として警察官・消防官に憧れていました。最終的に警察官を目指す決め手となったのは警察官のインターンやオープンキャンパスに参加したことです。実際に現職の警察官から職務を遂行する上でのやりがいや辛い事まで生の声を聞いた上で、大変な仕事ではあるが私の中で警察官が最も人々のすぐ近くで人のために働く事が出来る仕事であると思い、警察官を志望しました。

▶ TAC を選んだ理由

もともと勉強が得意ではなかったため、早めの試験対策を考えて大学 2 年の時に予備校を探しました。一般的に公務員試験は 1 年あれば間に合うという声もあったのですが、TAC の説明会に出席して TAC の担任の先生と話した結果、先生の熱意や TAC のフォロー制度、カリキュラムなどが自分にマッチしており、さらに私のような早めに準備を始めるための 2 年本科生というコースも整っていたため TAC を選びました。

▶ 教養試験対策

TAC での 1 年目は本試験での出題数が多い数的処理をメインにひたすら V 問題集を繰り返し解いていました。自宅での学習時間はもちろんですが、大学の授業の空きコマやアルバイトの休憩時間などの空き時間や待ち時間を活用して一問でも多く問題を解くことを心がけました。また、一度出席した講義でも別の日に同じ講義があれば何回でも出席可能なので数的処理については何回も出席をして苦手克服を第一に取り組みました。社会科学、人文科学、自然科学などの暗記科目については教室講義に出席したうえで、音声 DL フォローを活用し、携帯音楽機器に講義音声ダウンロードし、通学や移動時間で聞いていました。

TAC での 2 年目は数的処理について苦手意識はなくなり、問題も解けるようになったため少しずつ難易度の高い問題も交えながら 1 点を多く取り、ほかの人に差をつけるための対策を繰り返していました。また数的処理に余裕ができたため、暗記系の科目についても V 問題集を繰り返し解いていました。講義の時に配布されるレジュメや自分なりに要点だけをまとめたノート、単語や記号、単純な暗記箇所については暗記カードも活用して科目ごとに私が一番、覚えやすい方法を見つけて学習しておりました。1 年目に講義に出席し、音声 DL も聞いていたため 2 年目はスムーズに学習を進める事が出来た気がします。

▶ 面接試験対策

試験を終えて、面接では臨機応変に対応する力が大切であると感じました。

TAC の面接対策では、立ち居振る舞いなどのマナー、面接の傾向なども教えていただきました。面接官の方は、初対面の方なので緊張感があり、本番に向けて慣れる事が出来ました。しかし、本番は予想しない質問も多くあるため、最終的には自らの対応力にかかってくると思いました。そのためには常日頃から周りを見回し、日常で思ったことやニュースなどを見て、自分に意見を持つような心掛けをして話のネタや引き出しを増やしていくことが大切だと思います。

▶ 担任講師について

私の担任講師はユーモアたっぷりで、講義の休憩時間明けにするトークが毎回楽しめだったりしました。とても熱い方で時間が遅くてもわからない問題があればわかるまで教えていただけました。普段は優しい先生ですが、時々お説教や喝を入れていただく事もあり、それが私にとってありがたく、モチベーションの向上に繋がっておりました。いろいろと励みになるお言葉や厳しいお言葉をいただきまして、心に残った言葉は数処の V 問の表紙に書いて常に気を引き締めるようにしておりました。

▶ これから受験する人へのアドバイス

公務員試験はいかに試験に対して諦めずにしつこく勉強に取り組めるかが鍵となります。「1 年後には試験だ」と思っているとあっという間に半年、1 か月、前日と迫ってきます。移動時間、待ち時間、バイトの休憩時間、授業の空きコマなど、どんなに少しの空き時間でも大切に勉強してみてください。

どんなに勉強しても結果が出るまでは自信がなくてもいいと思います。私自身、最終合格を確認するまで一度も自信がなかったです。しかし、自信はつかなくても絶対に力がついていると思います。最後まで絶対に諦めず、自分が警察官・消防官として人のために働くんだという強い気持ちを持って頑張ってください。



石井 大貴 さん
神田外語大学 外国語学部 (在学中合格)

自分が本当にやりたいことの為に

最終合格先 東京消防庁消防官 I 類・横浜市消防局 (大卒程度)

受講コース	メディア	校舎
警察官・消防官入門付総合本科生	教室 + Web フォロー講座 9 月生	横浜校

▶ 消防官を目指した理由・きっかけ

私が消防官を目指した理由は大学 2 年生の時に応急処置の必要性を痛感する場面に遭遇し、改めて人の命を救う仕事に興味を持ったからです。また、私はベトナムでのインターンを通じ、利益を追い求めて働くより「誰か」の為に本気になることの大切さを学んだ経験が民間企業への就職を考えず、消防官になりたいと思った理由の一つでもあります。

私は小・中学生の頃からドラマや映画、テレビなどを通じて「消防官はとてもカッコいいな」と憧れを持っていましたが、漠然としたイメージだけしか持っておらず、消防官と言えば火を消して人を助ける仕事だと思っていました。しかし、消防官という職業は消火活動や救助・救急活動、予防・防災活動など、様々な業務があることを知りました。また、救命講習や防災指導のなど様々な形で市民の方々と関わることが多く、とても市民との距離が近いのが消防官だと思います。人の命を救いたいといった同じ志を持つ仲間と切磋琢磨して知識や技術、経験を積み重ねて成長できるのもとても魅力的だと思います。

▶ TAC を選んだ理由

私は消防官になることだけを考えていたので、民間企業への就職活動はせず、公務員の試験対策が充実した予備校を探しました。いくつか予備校の候補はあったのですが、一番初めに行った説明会が TAC でした。その時の講師が警察官・消防官の素晴らしい、合格を勝ち取る為に必要な勉強、心構えを熱心に語って下さったので TAC で勉強しようと思いました。

▶ 教養試験対策

私は数的処理、自然科学が苦手だった為、入校してから応用問題よりも基礎を徹底的に固める事に集中して取り組み、文章理解は時間を計りながら 1 日 5 題解いて試験に備えました。入校してから試行錯誤を繰り返し、自分の勉強の型を習得しました。それは、1 日で全ての試験科目をこなす事です。具体的に言うと、平日は全ての試験科目のレジュメを回して、土日に V 問題集をやるというものです。

例えば、数的処理には数的推理・判断推理・空間把握・資料解釈の様に細かく分かれているので、1 日でこの 4 つの分野のレジュメを 1 つこなします。暗記系も同様です。また、模試をしっかり受けて、問題を解く順番や時間感覚を養うことも大切だと思います。

そして、間違えた回数が多い問題は、自作の間違いノートや単語帳に記入して通学時間や隙間時間に眺めていました。

V 問題集などの過去問を解いて本番並の問題に慣れることは重要ですが、私は基礎固めの為のレジュメをととても重視しました。レジュメは講師陣が大切だと思ったものしか詰まっています。これ信じて繰り返し返せば力になると思い、どのレジュメも 10 回以上はこなしました。公務員試験は試験科目が多いですが、しっかり計画を立てて自分の決めた分量をやり続ければ本番で大丈夫です。

▶ 論文試験対策

論文対策はとにかく沢山書いて添削してもらうことで力になります。また、私は論文の構成メモを取る練習を繰り返しました。例えば、実際に起きた災害や事故、想定しうる災害とその対策などを自分で書き出します。私は実際にこのやり方で論文試験に自信を持って臨むことが出来ました。

▶ これから受験する人へのアドバイス

私は TAC へ入校したのが 9 月だったので、当時は、今から勉強して間に合うかという焦りを感じていました。そこで、TAC の警察官・消防官のクラスの担任講師へ正直に自分の焦る気持ちを相談したら、「焦りを感じる事が大切だ。その焦りが勉強を後押ししてくれる。解らない問題があれば来い。最後は気持ち」という事を言われたのを今でも覚えています。それから、私は超苦手科目の数的処理を中心に授業が終わる度に何度も質問しに行く日々が数ヶ月続きました。超初歩的な質問にもしっかり丁寧に応えて頂きました。TAC の講師は頑張ると決めた人を見放しません。しっかり私たちの考えを聞いて丁寧に応えてくれます。勉強が辛くなった時、思いっきりリフレッシュする。私はオンオフの切り替えを大切に勉強してました。勉強する時は短時間でも良いので本気で集中するという事を繰り返していました。この訓練で自分の本気の出し方が掴めます。TAC には警察官・消防官を目指す人達の他に色々な夢に向かい勉強している人達がいます。勉強に集中出来る環境が整っている為、私は少し気が乗らない日でも“とりえず TAC”に行き集中して勉強することが出来ました。

周りの人の進み具合が気になる事もあるでしょう。しかし、勉強は自分との戦いです。自分で決めた事をやり遂げ、続けることが本当に自分のチカラになります。後悔はやらなかった事に対してするものです。悔いが残らないように自分のチカラを出し切ってください。大丈夫です。やれます。



受講コース	メディア	校舎
警察官・消防官総合本科生	教室講座＋Webフォロー講座 4月生	水道橋校



受講コース	メディア	校舎
警察官・消防官入門付総合本科生	個別DVD+Webフォロー講座 7月生	横浜校



憧れを現実にすることができました!

最終合格先 千葉県警察官A

受講コース	メディア	校舎
警察官・消防官総合本科生	教室＋Web フォロー講座 6月生	池袋校

▶ 警察官を目指した理由・きっかけ

幼い頃から、悪と対峙し、地域の治安や人々を守るかっこいい警察官の姿に憧れていました。小学生の時いじめに受け辛い毎日を送っていました。そのとき守り助けてくれた先生や両親のおかげで今の自分がいます。それ以降、将来人を守り救うことのできる職業に就きたいと考え始めたのがきっかけで、警察官を目指すようになりました。

▶ TAC を選んだ理由

大学3年になり、ただ漠然と警察官を目指すといっても何からすればいいかわからず予備校に通おうと思いました。オリエンテーションに参加した際、講師の熱意・教室の講義だけでなくWEBのフォロー制度があるという点、また、以前に友人からTACの評判を聞いていたこともありTACに決めました。

▶ 教養試験対策

数的処理がとても重要だと言われており、また理数科目がとても苦手科目だったため一番数的処理に力をいれていました。自宅で問題を解こうとしたときに理解できない問題もたくさんありましたが、担任講師の作成した講義レジュメは本当にわかりやすく、それを学習すれば解決するため、いつも電車で読むぐらい重宝していました。一番力を入れたといっても、V問題集の頻出度A～CのうちAのみを3回くらい解き、基本を理解するよう努めました。

自然科学は捨て教科にしていたのですが、面白い語呂などが講義に出てきた際にはメモってブツブツ唱えていました。その語呂に関する問題が試験本番に出たのでラッキーと思いながら問題を解きました。ただ、暗記分野は曖昧な知識ですべての選択肢が正解に見えてしまいます。社会科学や人文科学など優先順位を決め、暗記分野にも力を入れたほうがベターだと思いました。本試験で問題を解きましたが、講師の方々が作ってくれた講義レジュメを読むだけでも十分だと合格点に達すると実感しました。

▶ 面接試験対策

面接試験は公務員試験において最も重要な試験だと思います。中でも警察官の試験は、他の市役所などの公務員試験と違い、二次試験が最終試験です。そのため、一度の人物（面接）試験で、自分という人間を面接官に最大限魅せることが合格のためには必要だと感じました。担任の講師はもちろん、OBOGの方々も面接の練習はたくさんしたほうが良いと仰っていました。緊張しいなので、面接とは思わず会話の中で、自分と働きたい、自分のこういうところが警察官に向いていると面接官の方々に思ってもらえるように話しました。私自身一度も面接練習はしませんでした。練習をしたほうがやはり緊張を抑えて本番に挑むことができるので、より落ち着いて自分を魅せることができるのではないかと思います。練習自体はしなかったものの、想定される質問と自身の回答はノートにまとめてスキマ時間に見ていました。あと面接試験本番はトップバッターだったため、とにかく印象に残るよう受験番号・氏名・出身大学は大きい声を出しました。

▶これから受験する人へのアドバイス

私は一度集中するととても集中して勉強できるのですが、その状態が長くは続かず勉強に手を付けられない日もよくありました。しかし、TACに行くと同じ目標を持った人たちが一生懸命講義を受けているため奮い立たされていました。辛くなったり、立ち止まることもあると思います。そのときは、将来自分が目指している姿になった時のことを想像しながら、また半年後、1年後の自分が、今現在の自分を思い返したときに後悔しないよう、試験勉強に励んでください。試験に合格することがゴールではありません。あくまで通過点です。自分は絶対に警察官になるんだ!という強い気持ちと自信をもって努力すれば、きっと結果もついてきます。



憧れの夢へ

最終合格先 山梨県警察官A・警視庁警察官I類

受講コース	メディア	校舎
警察官・消防官入門付総合本科生	教室講座 11月生	水道橋校

▶ 警察官を目指した理由・きっかけ

私が警察官を目指したきっかけは、中学生の頃に出場した『交通安全弁論大会』が影響しております。そこでは、何の落ち度もない人たちが交通事故によって命を落とすことに憤りを感じると訴えました。現在でも悲惨な交通事故は無くなっていません。「一つでも悲惨な事故を無くしたい」、そう考え警察官を目指しました。

▶ TAC を選んだ理由

私が警察官になるために勉強を考えたとき既に三年生の冬でした。独学でなんとかかなと思っていたのですが、いざ勉強を始めると範囲の多さと難しさに焦りを感じました。そんな時周りの人たちが多く入校していたのがTACでした。その人たちの勧めもありTACに決めました。また、教室に担任が付いており、いつでも質問できる環境が整っていたというのも決め手の一つです。

▶ 教養試験対策

私は数的処理と社会科学、人文科学に力を入れました。数的処理に関しては、高校生以来数式等に触れていなかったの、慣れるまでが大変でした。実際、試験には数的処理の出題数が多いので外せない科目です。まずは問題を沢山解いて慣れるべきだと思ったので、V問題集を3～4周はしました。それでも分からないところは先生や友達に聞いて理解することを心掛けました。

数的処理だけでなく、人文科学と社会科学も覚えるようにしました。数的処理に自信が無かったので、やれば点数が取れると言われていた、これらをコツコツ覚えました。数的処理のように一回やれば覚えられる科目ではないのでV問題を5回は繰り返しました。本番では、数的処理でミスした分、社会科学、人文科学で補えたと思います。

警視庁は国語試験（漢字）もありますが、漢字に関しても半月前からコツコツやるべきだと思います。TACでも国語試験用の問題集があるので活用してみてください。友達の中には漢字検定2級の参考書をやり込んでいた人もいるので、自分に合ったものを見つけて下さい。

▶ 論文試験対策

私は論文がとてども苦手でした。最初の添削でC評価を付けられてしまい、自分の文章力の無さに愕然としました。公務員試験では、論文の評価も大切ということを聞いていたので必死に練習を繰り返しました。私が論文試験対策をしていて思ったことが、さまざまな課題をたくさん書くのも良いと思いますが、ある程度出そうな課題を4～5個選んでそれを完璧に書くことができれば本番でも対応できると思います。題名を見て、頭の中で内容が出てくる位になれば本番でも上手く書けるはずです。

▶ 面接試験対策

面接は公務員試験の中で最も大切であり、かなり大きなウエイトを占めています。面接は慣れだと聞いたので、私はTACの講師陣が指導してくれる模擬面接を10回程使って練習をしました。最初は答えられなかったり、上手く言葉を整理出来なかったりしましたが、練習を重ねる内にスムーズに答えられるようにしました。また、本番でも仕事内容や自分が入ってからやりたい事を聞かれたので、しっかり調べておく必要があります。さらに、時事問題も聞かれるところがあるので、新聞も毎日読んでおく事をおすすめします。たとえ答えられなくてもその時の対応や姿勢を見ている事もあるので、その時は落ち着いて、嘘をつかず、正直に話すことが大切です。先ほども言いましたが、TACの模擬面接は活用することを強くおすすめします。

▶これから受験する人へのアドバイス

今、将来の夢に向けて一生懸命頑張っていると思いますが、挫折しそうになった時はなりたい自分をイメージして試験勉強をするモチベーションも上がると思います。私が本格的に試験対策を始めたのが3年生の冬でした。本番まで半年しかない中で、志望先に合格できたのはTACで勉強してきたからだと思います。短い中で効率良く勉強する為に的確なアドバイスをしてくださった先生方にはとても感謝しています。試験の三か月前から毎日のようにTACに通っていましたが、今となっては多忙な数か月が良い思い出です。合格して終わりではありません。就職してからも昇任試験等もあるので、今やっている勉強は将来にも役立つ知識だと思います。絶対合格するという強い気持ちを持って挑んで下さい。



警視庁警察官Ⅰ類・埼玉県警察官Ⅰ類・さいたま市消防(大卒程度)

桜井 博規 さん
専修大学
法学部(在学中合格)

また毎日の勉強に集中した時間を手帳に書き込み続けました。勉強をしているとどうしてもスマホに手がいつてしまい、気づいたら1時間とっくに過ぎていることが多々ありました。そこで勉強に集中した時間を手帳に書くだけで、その日本当に勉強した時間が分かり達成感や反省点を見つけ翌日以降のモチベーション向上に努めました。

私が試験を通して大切だと思った事は、勉強以外にも積極的に警察官になるためにすべき行動を取っていくべきという事です。教養試験の勉強ももちろんとても大切です。しかし、それだけに時間を取られてはいけないと思います。教養試験と同様に論文も面接対策もとても重要です。教養試験はあくまで試験のスタートです。論文は勉強の合間にも書けますし、面接は大学の就職課などが早い時期から練習をしてくれます。また警察がやっているリクルーター制度などを利用して現役の警察官の方と喋り、面接の材料を得るのも良いと思います。どうしても勉強に目がいってしまうと思いますが、実際に試験を受けていく過程で教養試験はあくまで通過点に過ぎないと感じると思います。もちろん教養試験で落とされては元も子もありませんが、合格を確実に見据えるのなら勉強以外のことにも早めに手をつけて行くべきだと私は思いました。



愛知県警察官 A

渡邊 莉帆 さん
南山大学
法学部 (在学中合格)

面接試験対策は、担任講師に指導して頂きました。ほとんど面接試験を受けたことがなかったので、応答の仕方や入室退室方法等全て教えてもらいました。面接の練習は、自分の頭の中でシュミレーションしていても、実際担任との面接練習をしてみると、緊張から思っていたように言葉がでないことが多かったです。練習を重ねたことで、本番では気持ちに余裕が生まれ、自分の伝えたいことをしっかり言葉で伝えることができました。実際に面接練習をするのとしないのでは、不安の度合いも違いますし、少しでも焦りをなくして試験に挑めると思います。本番でも、不安や焦りは表情等で面接官に伝わると思うので、面接練習をしてよかったと思っています。

TACでは、最後の最後まで合格できるよう全力でサポートをしてくれます。私の場合は、部活を続けながらだったので、勉強時間がなかなかとれなかったのですが、何を優先するべきか、何をいつまでにやればいいのか、その人に合わせて具体的に考えてくれましたし、その進み具合も定期的に確認してくれました。一人ひとりを見てくれますので安心してTACで夢に向かって勉強を進めてほしいと思います。直前期には、不安や焦りが出てきて勉強から逃げたくなることもあるかもしれませんが、しかし、合格するんだという強い意志があれば絶対乗り越えられます。諦めずに頑張ってください。



東京消防庁消防官Ⅰ類・警視庁警察官Ⅰ類・
千葉県警察官A

水道橋校

自分との闘いに打ち勝つために

東京消防庁消防官Ⅰ類・横浜市消防局(大卒程度)

横浜校

また、将来の夢を持ち、全力でその夢を追い、そして叶えることができるということはとても幸せなことだと思います。是非とも夢に向かって頑張ってください。



年齢は関係ない。強い気持ちがあれば合格出来る。

最終合格先 東京消防庁消防官I類・横浜市消防局(大卒程度)

受講コース	メディア	校舎
東京消防庁本科生	教室講座 12月生	横浜校

▶ 消防官を目指した理由・きっかけ

初めて消防官に興味を持ったのは24歳くらいの時でした。しかし、中々仕事を辞めて消防官を目指す一步が踏み出せずにいました。そんな生活を2年ほど続けていた時、私の目の前で交通事故が起きました。その時なにもできなかった自分が悔しく、消防官を目指すと言う気持ちになりました。

▶ TAC を選んだ理由

私の先輩に、TACに通い公務員試験に合格した人がいました。その先輩からオススメと聞いていたので、自然とTACを選んでいました。また、担任制度があり質問しやすい環境があったのは非常に助かりました。

▶ 教養試験対策

私は数的処理が最初は苦手でした。しかし、V問をはじめ同じ問題を5回以上はやりました。そうする事により解き方の流れがわかるようになり、徐々に点数が伸びていきました。また、社会科学は得点源にしたいと考えていたので、V問や演習などの問題の正確だけではなく、なぜ不正解なのかをしっかりと見るようにしました。そして、大切な所を見つけたら1つ1つ書き出し、暗記するようにしていました。それは、自然科学の生物や化学などでも行い、暗記し忘れないようにしました。最初はわからない問題も多々ありますが、反復することにより理解へと変わっていくと思います。

▶論文試験対策

私は教養の点数は21点と決して高い点数ではなかったですが、論文対策をしっかりと行っていたから最終合格できたと思っています。私が論文対策を始めて、1番心掛けていたことは、時間が掛かっても考えて書く事でした。時には1つの論文に3時間近くかけて書いた時もあります。考えて書く事により、自分自身の考えが明確となり、説得力のある論文が書けるようになったと思います。そして、書いた論文は担任や友達に見せ、しっかりと添削をしてもらい、自分自身の悪い所を修正していきました。また、直前期は本番を想定し時間を計り、10分前には書き終わり見直せる時間を作るように心掛けました。論文は公務員試験において非常に大切になります。特に東京消防庁はかなりのウェイトをしめるので、しっかりと対策する必要があると思います。

▶ 講師について

TACの講師の方々は、わからないところを質問すれば、しっかりと対応してくれます。時には、この問題がわからないと合格できないなどと、厳しい言葉をいわれる時もありましたが、それは受講生の事を考えてのことです。勉強しているのにわからないところが多くあると不安になりますが、わからないところを曖昧にするのではなく、しっかりと質問し自分自身から逃げないようにすることが大切だと思います。

▶これから受験する人へのアドバイス

私が初めて東京消防庁の試験を受けたのは27歳の時でした。そして、実際に合格できたのは28歳の時であり、東京消防庁を受験できる最後の歳でした。仕事もせずに、勉強していた期間は、毎日不安であり、苦しい時間が本当に多かったです。しかし、自分を信じて努力し、合格できた時は人生で1番嬉しさが込み上げてきました。受験する人の中には、それぞれに色々な境遇があると思います。しかし、消防官や警察官を1度は目指したいと思ったからこそ、目指しているのだと思います。勉強している期間は決して楽ではないですが、私のような年齢でも合格している人もいます。受験資格があるのであれば、諦めずに自分自身で努力し、ぜひ合格を勝ち取ってください。努力は絶対に報われます。



消防官になるために

最終合格先 相模原市消防局(大卒程度)

受講コース	メディア	校舎
東京消防庁本科生	教室講座 8月生	立川校

▶ 消防官を目指した理由・きっかけ

私は幼少期から人のために働きたいという思いがありました。特に消防官を目指すようになったのは、火事や災害現場などのあらゆる事態の際に第一線で人を助けている姿に感銘を受けたからです。消防の業務は直接、人命に携わる機会も多く、責任も大きいですが、だからこそやりがいがあり、魅力があるのだと思います。

▶ TAC を選んだ理由

私は独学で試験対策をするとなると勉強や情報面など手の届かない点が出てくると考えたので、予備校に通うことを決めました。多くある予備校の中でもTACに決めた理由は、フォロー体制や熱心な講師による担任制度があり、1人ひとりに合った学習スタイルを確立できるからです。

▶ 教養試験対策

公務員試験は数的処理の出題が多いため、一番重点的にやりました。V問題集を何周か解き終えたら、なるべく解いた事のない問題を解くようにしていました。出題傾向などもあるので試験間近には警・消公務員試験の過去問をやり、時間配分や問題を数分で解く感覚を磨きました。文系科目は1つ1つの科目でみると、問題数は少ないですが、合わせてみると問題数も多いため得点源です。特に警・消公務員試験のほとんどの受験生は数的処理対策しているので、文系科目は差をつけるポイントになると思います。暗記科目はできるようになってからも毎日反復して問題や参考書に触れることが大事です。最初から苦手だと決めつけずに取り組むことが大事だと思います。

▶ 苦手科目克服法

私は苦手な文系科目を克服するために頭にインプットする時間とアウトプットする時間を作りました。具体的にはインプットの時間はひたすら参考書などをノートに書き写しました。自分でノートを作成することにより、問題を解くときにそれが参考書代わりになりました。アウトプットする時間は、TACの友人と問題を出し合いました。インプットした日に合わせて行い、わからない問題は友人に解説してもらい、ノートにそれを書き込みました。日本史などは就寝する前に、漫画風になった絵を見ることで、より具体的な知識にしました。

▶ 講師について

TACの講師の方々はやる気のある生徒に熱心な指導をしてくれます。講義以外でも話をする機会を設けてくれるので、積極的にコミュニケーションをとれます。わからない問題の解説や論文の添削もしてくれるので、大きな支えになり、勉強に対する不安なことも解消し、講師の方と共に二人三脚で勉強することができました。

▶ TAC の教材について

講義レジュメなどの教材は講師の方が作ってくれているので、講義に合わせた内容になったおり分かりやすいです。またV問題集は様々な公務員試験の過去問も載っているので、対策や苦手な範囲を認識することができます。私は多く他の教材に手を伸ばさずに、TACの教材を網羅できるように勉強しました。

▶これから受験する人へのアドバイス

私は既卒であったことから、仕事との両立を一番苦労しました。ですが、物事の合間を使って勉強するようにしていた事で、結果的に大学生と比べると勉強する時間を作れたと思います。集中が途切れそうな時は試験などで他の受験生に絶対に負けたくないという思いで勉強をしました。私は文系科目が苦手だったので、苦手科目を克服するために、ひたすら過去問を解き、捨て問題は絶対に作らないようにしました。おかげで試験が始まるころには得意科目になっていました。そういった前向きな姿勢を、TACの講師の方々は勉強面や精神面でサポートしてくれます。分からないところを放置しないで着実にこなすことが大事だと思います。公務員試験を受験するにあたり辛いこともあるとは思いますが、自分自身のなりたい夢を胸に頑張ってください。

受講コース	メディア	校舎
警察官消防官入門付総合本科生	教室講座 10月生	なんば校

受講コース	メディア	校舎
警察官消防官総合本科生	教室＋Web フォロー講座 12月生	なんば校

公務員試験はゴールではなく夢への通過点でしかありません。
自分が思い描いている夢へ一步でも近づけるように、勉強を頑張ってください。